

こどもは、大人みんなで育てよう！

学級崩壊・授業が難しい状況に嵐山町もなることがあります。

♥H17年国勢調査では嵐山町で子どものいない世帯は7.2%。
大人が子どもに接する機会も少なくなりました。

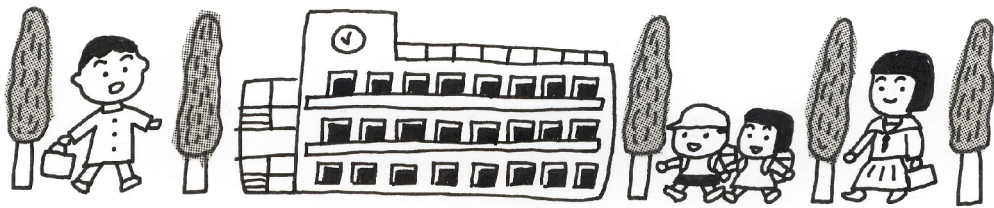
◆こどもが子ども以外の人（高校生・若い人・高齢者・熟年者等）で家族以外の人と交流する場をつくりましょう。

♣東京中野区沼袋小学校では、児童数150人に、地域のサポーターは（父母・大学生・地域の人等）1500人です。
いじめ・不登校・学級崩壊0を目標にしたコミュニティスクールです。

♣沼袋小学校のお手伝いは、クラブ活動への参加・指導、子どもと一緒に遊ぶ、スポーツの仲間、授業の補助、学校整備、学校行事の補助、テストのまるつけなど、たくさんあります。

嵐山町ももっと大人と子どもが接することができるように、

パトロールの他、学校を地域に開き、子どもに関われる方法を！



H17年国勢調査(今子どものいる家庭はもっと少ない)		
	世帯数 (%)	世帯人数 (%)
一般世帯総数	6426	18750人
18歳未満がいる世帯	1812 (28%)	7831人
(うち18歳未満)		3081人 (16%)
(うち18歳以上)		4750人 (25%)
18歳未満がいない世帯	4614(72%)	10919人(58%)

2007年度 渋谷とみこ収支	
議員報酬	373万円+60万円(他から)
支出 社会保険料	139万2445円
所得税・住民税	9万3650円
あれこれ通信・紙代	5万6315円
印刷機リース	16万8966円
本・講演会など	10万660円
選挙 寄付	29万7千円、自己負担7万2千円
支出 ポスター・葉書	10万2千円
人件費等・食費等	26万7千円

嵐山町役場の隣に学校給食センター建設予定（H21年9月オープン）。

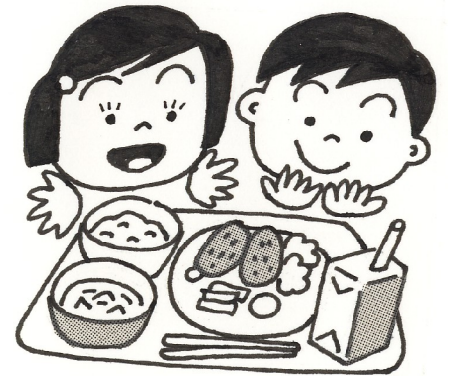
問題が2つあります。（予算額 2億4700万円）

① オール電化仕様です。電磁波は、21世紀の最大の公害といわれています。

- 電磁調理器は、調理場が高温にならないので、働く環境としてはよいといわれます。
- 電磁波の危険は知らされていません。（電磁波過敏症・小児白血病の発生・がん等）
- 日本では、経済産業省が安全のガイドラインとする100ミリガウスは、スウェーデンなどが規制する上限3ミリガウスの33倍以上もゆるい数値です。電磁調理器は、電磁波を作って高温をつくる装置なので、電磁波の影響が大きく、電磁波の慢性被爆による健康への影響が心配です。
- 労働の場なので、オール電化ではなくガスも使用したほうがよいのでは。

②嵐山町の給食センターでご飯をつくりません。

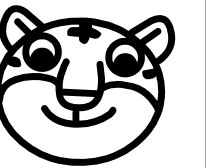
- ご飯は毛呂山町の給食センターに委託します。今までもそうだったというのですが・・・
- 炊飯には広い場所と人手がいるので、予算不足というのです。（5000万円位）
- 各学校で各クラス用の炊飯器で炊飯する方法もあり、食農教育に熱心な市町村では、各学校でご飯を炊くところもあります。
- 小麦が高騰して、麺・パン類が値上げです。ご飯中心の給食にし、町生産物を使って加工品・冷凍食品の少なくしたいですね。



学校給食は経済効率で考えず、教育の視点から優れたおいしいものを

トーク嵐山(第1回)

トーク嵐山は、町の課題を皆さんと一緒に考えるため立ち上げました。定期的に蝶の里まちづくり講座を活用して、嵐山町の担当者にお話を聞いたり、現在の課題に詳しい講師にお話を聞いて、嵐山町について議論したいと思います。聞くだけという方も。



テーマ
「平成20年度予算」説明会
日時 5月23日(金)
夜 6時30分～9時
場所 勤労福祉会館 会議室
講師 嵐山町政策経営課長

一人暮らしの高齢女性にインタビュー

???才。
パートナーが亡くなってから?年。
お子さんは都内。



どんなことが一番困りますか。

- ◆ 病気がなったときに一人暮らしはこたえます。入院したのですが、入院が予定されている場合は用意できるけれど、緊急入院だったので、準備ができていなかった。
- ◆ 身内が遠い場合、手術の立会いが難しい。
- ◆ 常にホームドクターに相談していて、緊急連絡先をご存知なのでドクターの存在が心強かった。
- ◆ 定期健診をしていることで早期発見ができるので健康な人もホームドクターがいたほうがいい。
- ◆ 日常生活では？
- ◆ 掃除は、ヘルパーさんを利用しなければ難しいので、介護保険に認定され、週2回お願いしました。
- ◆ 最初は、週2回でしたけれど、買い物は自分でできるようになったので、週1回にしました。お風呂のお掃除などきれいにしてくれます。
- ◆ 運動ができるから買い物はできますが、徒歩で重い荷物をぶら下げてあるのは無理です。
- ◆ 食事は？
- ◆ 調理は、買い物から始まって無心になれるひと時なので、食事をつくることは大切です。加工品は自分の味ではないので買いません。
- ◆ いつもきれいにして、素敵ですね。
- ◆ おしゃれと身だしなみは一緒。
- ◆ 流行にこだわらず、配色で決めます。
- ◆ おうちが片付いていますね
- ◆ 不用品は捨てます。
- ◆ 部屋を整理整頓して、常に定位置で、緊急時に誰にもわかるようにしています。
- ◆ 一人暮らしのコツは、
- ◆ 家に閉じ困らないこと。外に出て人に会い、買物するしないにかかわらず、お店で品定めをする。
- ◆ 散歩をして外の空気を吸う が、私のコツ。
- ◆ 葬送についてお考えは、
- ◆ こうあってほしいという願いはありません。
- ◆ どのように死ぬかわからないけれど、ご近所に迷惑をかけないようにしたい。
- ◆ 嵐山を離れてこどもの近くに転居することも選択の一つだと思います。
- ◆ 元気な場合、嵐山町を去る時はお別れ会（生前葬にあたるもの）をしたい。